

『どうぞ試してください』(ダニエル書 1章 3-21 節) 2021.9.12.

<はじめに> 聖書とはどんな書物ですか? 聖書から何を知り、得ようとして読んでいますか? 聖書の過去の物語と叙述の中に、神が如何なる方で、どのように考え行動される御方なのか、人とは何者かで、神はどのように人と関わり、人に何を求めておられるのかを汲み取りたいと願います。

I 異国に生きる

①溶ける民族

他国で生活するだけでも大変なことです、捕虜には屈辱・冷遇・抑圧と差別が露骨に加わり、守ってくれる母国がない悲哀と辛酸を味わいます。やがて大部分は言語・文化習慣・氏名・宗教も崩れて寄留国に同化して、民族は溶けて消えるのが歴史の常道です。

②王の召しにより(3-7)

ネブカドネツアル王は仕官させるに有望な少年をイスラエルの捕虜の中から選び、英才教育を与えます。王と同じ食事、最高の学びの機会は格段の荣誉ですが、同族とは分断されます。その中に、ダニエル、ハナンヤ、ミシャエル、アザルヤがいました。

③ダニエルの決意(8)

モーセの律法には食物規定があります(レビ 11:2-47, 申命 14:3-20)。神々に献納された食物が並ぶ王の食卓は宗教的儀式と直結していました。ダニエルは律法にそぐわない食事で身を汚すまいと決意します。この国で彼はどのように生きようと決意したのでしょうか。

II 提案と挑戦

①試してください(9-14)

ダニエルは決意を願ひ出ますが、宦官の長は難色を示します。そこで世話役に提案を持ち掛けます。どんな提案ですか(12-13)。ダニエルはこの提案の勝算がどれくらいだと思っていたでしょう。神の「恵みとあわれみ」(9)は具体的にどこに見つけられるでしょうか。

②神を試す

神を試みることをイエスも律法も禁じます(マタイ 4:7, 申命 6:16)が、「わたしを試してみよ」(マラキ 3:10)ともあります。両者の違いはどこにあるでしょう。ダニエルの提案は神を試みたのでしょうか。その動機、目的を言い表してください。

③神の恵みと賜物(15-21)

十日後、ダニエルたち4人は顕著に壮健で、世話役はこの食事を継続することにしました。神は、この4人の少年に知識・知恵・理解力を、ダニエルには幻と夢を解き明かす能力を授けます。彼らの知恵と能力は抜群で王も認めるところとなり、彼らは王に仕官します。

III この世できよく生きる

①どのように生きたいか

私たち信仰者はこの世では少数派で、ひたむきに生きています。その中で神を信じる信仰を保つことは容易ではありません。異なる価値観・原理原則の中で私たちはどのように生きたいと願っているのでしょうか。

②より良く生きたい

生活の必要が満たされ、日々支えられて平穩無事に生きられるよう、私たちは神に助けと満たしを祈ります。主の祈りの後半にも見られる自然な欲求です。私たちは何のために、どんな動機でそれらを神に求めているのでしょうか。マタイ 6:35-34 を読んでみましょう。

③きよく生きたい

神は聖く、比類なき方で、神はご自身に近づく者にも聖さを求められます(レビ 11:44-45)。ダニエルはこの神の前にきよく生きることを求めました。聖い至高の神に相応しく崇め、信頼し、身をもってそれを世に示すためです。生ける神はそれに応えられる御方です。

<おわりに> この地、この時代にも神は生きて働いておられることを証して、神から与えられる愛と平安と喜びを周囲に響かせるために、神は私たちを召されました。神が「あなたを祝福し、地のすべての部族はあなたによって祝福される」(創 12:1-3)ためです。(H.M.)